

アメリカ

ケンタッキーブルーグラス

アメリカはケンタッキーブルーグラスの性能の標準となる、優れた密度、日陰抵抗性、乾燥抵抗性を特徴としています。その優れた性能は、他の多くの新しい品種が開発され消えていく中で、いまだに最新のNTEPテストの上位ランキングを維持していることが何よりの証といえるでしょう。

【特徴】

アメリカの際立った特性は、あらゆる高品質のケンタッキーブルーグラスの芝生が求められる混播の重要な配合品種の1つとして必ず必要になる点です。高い発芽勢、早い春のグリーンアップ、高いソッド強度、高い密度など、すべての点において他の品種の群を超えたスタンダードとなっています。アメリカは長い年月評価されて成功してきた、低成長型エリートタイプの品種です。アメリカは濃緑色で密度の高い細葉の芝生です。1986-1990年のNTEPテストでは、アメリカは日陰の抵抗性と芝生の強度の両方で1位になりました。1996-2000年のNTEPテストでは継続的にトップランクの品種としてランクされました。アメリカはその後も現在の最新のNTEPテストでも常に上位のランクに位置しています。

【病害抵抗性】

アメリカの総合的な病害抵抗性は他のどの品種にも負けません。メルティングアウト、リーフスポット、サマーパッチ、ダラスポット、レッドスレッド、ほとんどの種類のさび病などに優れた抵抗性を持っています。またアメリカはフェアウェーの刈高での夏場の抵抗性も大変優れています。

【用途】

アメリカは他のケンタッキーブルーグラスとの混合にも、ファインフェスク、ペレニアルライグラス、トールフェスクとの混用にも利用できる品種です。スポーツフィールドや永年使用のゴルフ場のラフ、その他一般の芝地などあらゆる場面で使用可能です。刈高は12mmまで低刈りができます。

【播種】

推奨する播種時期は、遅い夏から早秋(推奨)、早春か春半ば(良い)がお勧めです。冷涼な地域では遅い秋に播種して冬場の寒さに種子をさらしてまく休眠播種も良いかもしれません。播種量は10~20g/m²が良いでしょう。播種時の施肥量は土壌分析をして判断しなければなりません、一般的には5~8g/m²の実際のNPKを施肥することにより早期のターフ成立が可能です。



【管理】

アメリカは施肥に大変良く反応します。2.5~3.5g/m²の窒素施肥を成長月に与えると最高に元気なターフを維持します。高温の夏には窒素量を減らすか与えないようにします。アメリカは低成長型の芝であるため、他の芝生に比べて刈り込みの頻度を下げることができます。刈高は12mmまで下げられますが25~50mmが最適です。高温乾燥時期には散水が必要です。秋の施肥は重要です。完全肥料を施肥してください。

商品技術情報

発売開始年	1984
主な用途	ゴルフ場、スポーツターフ、一般芝
種子粒数	3033粒/g
一般的発芽日数	10~14日
一般的初回刈り込み	35~40日後
NTEP芝質得点 (1996-2000年データ)	優れている
遺伝的緑色	濃緑色
夏期高温抵抗性	優れている
葉のキメ	細葉
芝密度	大変高い
日陰抵抗性	優れている
ソッド強度	優れている 32kg
pH適応	5.0~7.8
凍害抵抗性	優れている
低刈抵抗性	優れている
早春色上がり	早い
散水要求量	低い
リーフスポット抵抗性	大変良い
サマーパッチ抵抗性	優れている
ブラウンパッチ抵抗性	優れている
ダラスポット抵抗性	優れている
乾燥抵抗性	優れている
グレーリーフスポット抵抗性	優れている

販売店

生産：ピックシードウェスト社（米国オレゴン州）

輸入元：株式会社 **ヒューエンタープライズ**

東京都新宿区西五軒町 10-1

Tel:03-5225-2647 Fax:03-5225-2648

<http://www.hugh-enterprise.co.jp>

info@hugh-enterprise.co.jp